



白馬村・小谷村では、「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います

発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙10307-3/電話0261-82-3100）

SBC信越放送で「7.11災害から25年」が放映されました

7月11日(土)に、SBC信越放送で「川と生きる 谷をまもる～7.11災害から25年 砂防堰堤の役割～」が放映されました。この番組は、白馬村、小谷村に甚大な被害をもたらした「平成7年7月11日豪雨災害」から25年目の節目に、被災後に整備された砂防堰堤を訪ね、その役割や特徴を学ぶとともに、再び災害に見舞われないために、地域はどう防災に取り組んできたかを紹介したものです。

放送では、小谷小学校の5年生に「7.11災害を学んで思ったことや、ふるさと小谷村への思い」をパネルに書いていただき紹介させていただきました。



姫川建設業協会と協働で草刈りを行いました

7月16日(木)に白馬村の大日向砂防堰堤と小谷村の里見砂防堰堤で、施設周辺の草刈りを行いました。この活動は、長野県が平成17年9月1日から実施している「砂防施設等維持管理ボランティア活動支援事業」として行っているものです。

この日は、天候にも恵まれ、姫川建設業協会から22名、当所から7名の計29名が参加し、雑草が繁茂した通路などを整備しました。

後日、里見砂防堰堤で小谷村主催の「砂防ダム巡りバスツアー」が行われ、ツアー参加者にはキレイになった堰堤をみていただくことができました。



小谷村で砂防ダム巡りバスツアーが行われました

7月19日(日)に、砂防ダム巡りバスツアーが行われました。毎年、この時期に、3～4回開催されていますが、今年は、新型コロナウイルスの影響で1回の開催となりました。

参加者は、13名と少なめでしたが、県外からも多くの方に参加していただき、いろいろな堰堤をみて、堰堤の役割や、形が違う意味を勉強していただきました。

里見砂防堰堤は、鋼製フレーム構造の堰堤ですが、見た目からジャングルジムの堰堤とも言われています。西親沢千国6号堰堤は、軟弱な地盤のため、コンクリートブロックを積み上げて造っています。



小谷村 里見砂防堰堤



小谷村 西親沢千国6号堰堤

門前沢流路工（小谷村宮上）が完成しました

7月上旬に宮上神宮寺付近の門前沢流路工が完成しました。この付近にはすでに砂防堰堤がつけられていますが、大雨の際には流路両岸からの土砂が村道中谷西側線に流出することがありましたので、流路や斜面の整備を行いました。

地元の皆様にはご心配とご迷惑をお掛けしていましたが、これからは安全に村道を通行していただけます。



門前沢 小谷村 宮上

現場紹介No. 1

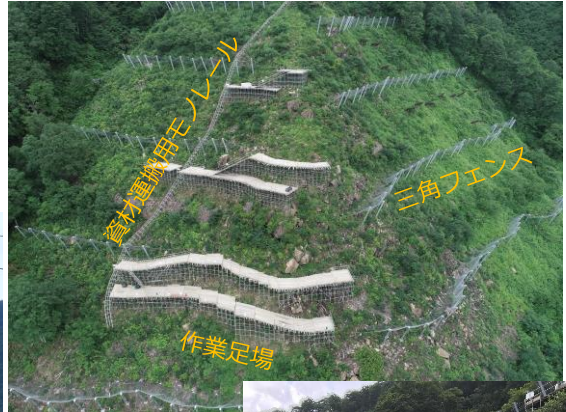
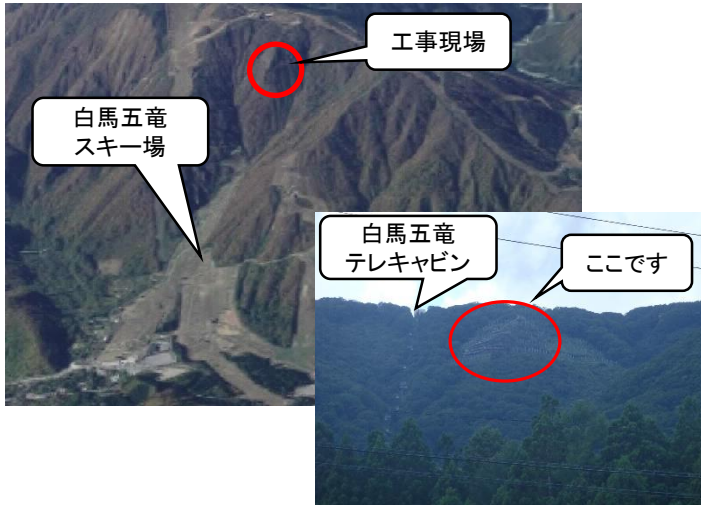
飯田 雪崩対策工事（北安曇郡白馬村 飯田）

■本事業について

工事箇所は白馬村飯田地区の白馬五竜スキー場上部(1400m)の平均勾配36°の沢・尾根地形が混在した場所で、過去には大規模な雪崩により災害が発生しており、スキー場スタッフによる誘発雪崩を発生させ大規模な雪崩を予防しているのが現状です。

本事業では、雪崩発生源に高さ5.6m、延長1355m（本年度施工分76.5m）の雪崩防止柵(三角フェンス)を建設し雪崩から住宅や宿泊施設の安全を確保します。

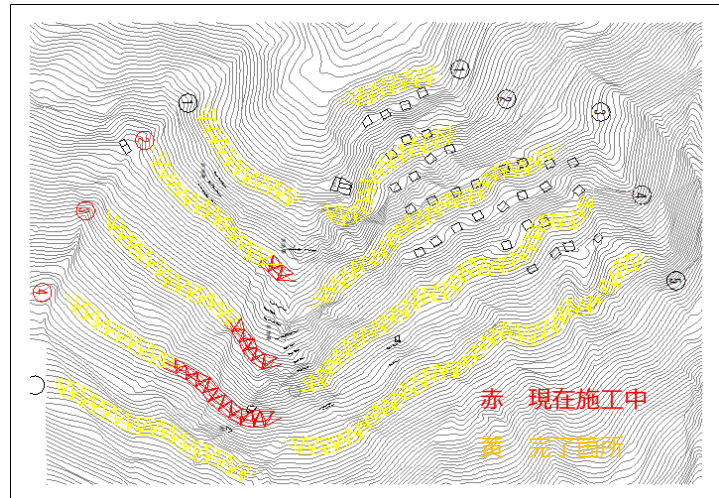
現場位置図



■工事の施工について

工事は平成26年度より施工し今年度で完了予定です。尾根地形を中央に5段10列の雪崩柵を設置しています。降雪前の11月上旬までには完了する予定です。高地で急傾斜のため全ての資材は山頂までは不陸運搬車、その後モノレールで運搬しています。現在は作業足場を設置し三角フェンスの柱を固定するアンカーの削孔を行っています。

完成予想イメージ



■代理人さんから一言

一見地味な場所で作業を行っていますが国道からスキー場を見上げてもらうと足場が要塞のように見えますので、気にしてみてください。雪崩から地域を守り安全で安心して過ごせるよう作業を進めていきたいと思えます。

株式会社 大糸 中村 智幸

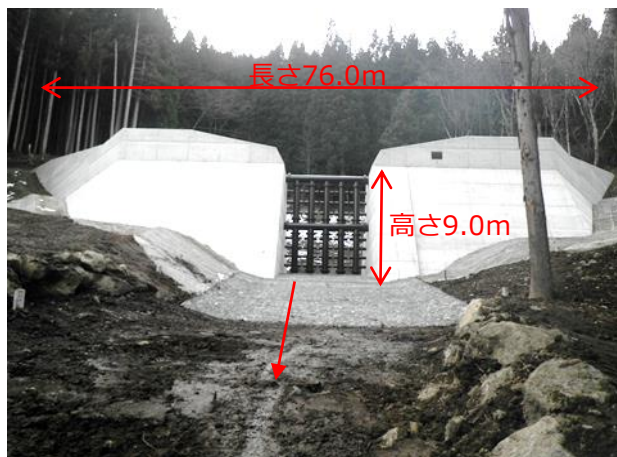


現場紹介No.2

堂の沢 砂防堰堤工事 (北安曇郡小谷村 虫尾)

■本事業について

虫尾地区の堂の沢と日土沢の上流域は地質が脆弱なため、山腹では過去に何度も地すべりが発生しています。平成7年の豪雨では、土石流と地すべりが発生し、虫尾集落の村道を塞ぎました。下流域には、人家、公民館、国道148号、村道などがありますので、日土沢に1基、堂の沢に2基の砂防堰堤を施工し、地域住民の安全・安心を確保していきます。

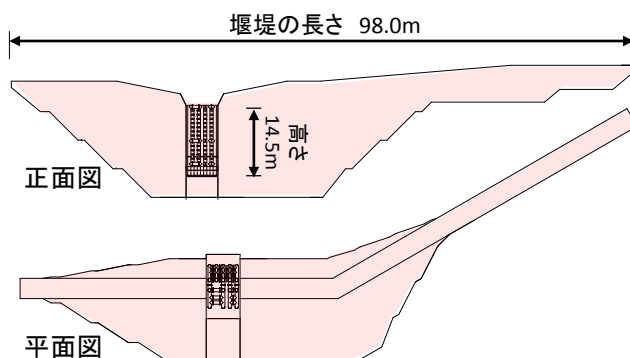


日土沢 砂防堰堤 平成27年完成

■工事の施工について

平成30年に工事用道路工事に着手し、令和2年から堰堤工事を開始しました。

現在は、コンクリート打設を行っています。すべての工事が終わるのは令和3年11月頃になる予定です。



■主任技術者から一言

堂の沢下流域の人家、田畑、国道148号などを土石流から守る砂防堰堤工事をしています。平成30年に工事用道路工事に着手し、令和2年から砂防堰堤工事にとりかかりました。

最近は予測できない量の雨が降るので、1日でも早く工事を完成させたいと考えています。車両の通行など地域の方にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

株式会社 北野 細野 寛和